

# ホスピタルストリート

No.05 /  
Hospital Street 2023

## 常勤医師4名を増員して、法人2年目がスタート



### 理事長 寺野 彰

香取おみがわ医療センターは、昨年4月に地方独立行政法人となりその環境は大きく変わりました。その本質には変化はないものの、病院の運営は自由かつ効率的になり、その行動と思考の自由度というものは根本的に変貌したと考えています。職員の日々の仕事ぶりも自由な発想の下に積極的になり、患者さんに対する態度も、その思いやりと親切心などを見ると大きく変化してきたように思えます。また、地元出身の職員が多く、職員の間関係も極めて明るくなっています。

不足していた常勤医師も、優秀な指導医・専門医に集まっていただき、今年から4人の増員となりました。さらに多くの医師に来ていただくように、視点を広げて努力していく所存です。皆様の応援をよろしくお願いいたします。



### 病院長 桑原 憲一

近年、当院の最大の問題は常勤医師の減少でしたが、昨年と比べて4月からは内科3名、整形外科1名の医師が加わりました。常勤医増加に伴って、今年度は課題であった、救急医療の応需率を改善したいと考えています。常時は困難であった日中の時間外診療を可能にしたり、非常勤医師による夜間・休日の宿日直に、常勤医師が加わることで、救急医療の応需率を上げたいと考えています。

また、糖尿病専門医が加わったため、多職種による糖尿病サポートチームで透析予防の指導を行えるようになり、また、内科医による訪問診療や在宅医療も拡充できると考えています。

今後さらに、より良い医療を持続的に提供していける体制を作りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 病院のシンボルマークを策定

令和4年11月からシンボルマークデザインの一般公募を行い、職員による投票結果を踏まえて最優秀作品を選考し、地方独立行政法人香取おみがわ医療センターのシンボルマークを策定しました。

### デザインコンセプト

香取市（小見川）が水の郷、桜の名所として有名なことから「桜」と「川」、そして医療のイメージから「命（ハート）」をモチーフとして組み合わせて、香取おみがわ医療センターの頭文字「k」をシンボル化したマークです。カラーも桜・川・命からピンクとブルーを採用し、知的で柔らかな配色にしました。

新病院になって植樹した桜は、少なくも力強く咲いていました。「桜」が年々花数を増やすように、シンボルマークに示す「ハート」を大切に歩いていきたいと思えます。



糖尿病サポートチームによる、糖尿病透析予防外来、糖尿病教室が始まりました。

## 糖尿病サポートチーム Moving

### 糖尿病の予防と治療で大切なこと

内科部長 **永野 秀和**

糖尿病専門医  
内分泌代謝内科指導医  
総合内科専門医

糖尿病は放置せず、早めの治療で合併症を  
予防する

糖尿病は、血液中の血糖値が高いことで診断される病気ですが、血糖値が高いだけでは大きな症状がないことがほとんどです。しかし、高血糖が長い期間続くと全身の血管がもろくなってしまいます。そのことが原因で、さまざまな合併症が発症します。軽度の合併症であれば、治療可能ですが、重度になると大きな後遺症を残してしまう可能性が高くなります。糖尿病が疑われたら、放置せず、早めに治療を行うことが大切な理由は、『合併症を予防』するためなのです。



### 糖尿病サポートチームが活動開始

糖尿病専門医の永野医師や日本糖尿病療養指導士を持つスタッフが集まり、専門的に糖尿病を診療するチームが結成されました。4月から糖尿病透析予防外来がスタートし、糖尿病教室も開催されます。糖尿病の治療には、合併症の程度、個人の性格、家族環境などに合わせて、患者さん一人ひとりにあったケアが必要です。糖尿病のエキスパートである様々なスタッフが患者さんを中心とし、トータルにサポートします。



### 「チーム医療」が必要なのはなぜですか

一人の患者さんに対して、医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士が総合的にサポートします。糖尿病に関する専門知識を持つスタッフが連携することで、患者さんの病状にあわせた治療を提供することができます。診察・薬・食事・運動・検査をふまえ、患者さんと共により良い治療を実現していくことを目指しています。



### 現状の把握が大切

臨床検査技師 **飯塚 信義**

糖尿病の状態から治療に必要な検査についてご説明いたします。特に血糖に関する検査と合併症に関する検査結果を、どのように解釈するかをお伝えします。患者さん自身に病状を把握していただき、血糖管理を行っていくためのサポートをさせていただきます。



# Forward Together 共に歩もう



## 糖尿病透析予防外来

### 糖尿病透析予防外来4月開始

糖尿病透析予防外来は、糖尿病専門医・看護師・管理栄養士が、糖尿病性神経障害、糖尿病網膜症、糖尿病性腎症などの合併症を予防するため、食事や生活の振り返りを行い、糖尿病が悪化しないようにサポートします。特に、糖尿病性腎症が透析を始める原因の約4割で、腎機能の低下は自覚症状がほとんどありません。患者さんに合わせた健康管理を共に考えていきます。



## 糖尿病教室

### 糖尿病教室 5月開講！

「糖尿の気(け)がある」「甘くなければ食べてもいい」「運動する時間がないからやらない」「インスリンは最後の治療」このような声を聞くことがあります。皆様はどう思いますか？

糖尿病教室は、「予防と治療」の方法を正しく知るための学びの場です。ぜひ、糖尿病を上手にコントロールしていくために、奮ってご参加ください。(申し込みは内科外来まで)



## 食事は治療の要(かなめ)

### 管理栄養士 高安 和美

日本糖尿病療養指導士

毎日の食事は糖尿病治療に影響を与えます。自分で食事量を調整していませんか？食事制限ばかりではありません。好きなもの食べてもらいたい！過剰なものと不足しているものを見極めて、おいしく楽しい食事を共に考えていきましょう。



## 生活指導とフットケア

### 看護師 山口 美佐子 (写真中央)

日本糖尿病療養指導士/フットケア指導士

皆さん、毎日自分の足をみて触っていますか？糖尿病になると小さな傷が治りにくかったり、急激に悪化してしまったりすることもあります。生活や足のことなど、気になることがあれば相談してください。これからも自分の足で歩くために、フットケアを始めましょう。

## 薬は体を守るため

### 薬剤師 木村 聡子

日本糖尿病療養指導士

医師に薬を勧められたとき、断ったり、先延ばしにしたりすると、体は長い時間をかけて徐々に傷みます。薬は「体を守るため」であることが伝わるようにと、心がけて説明しています。また、副作用などの薬にまつわることの相談窓口としても対応いたします。



## 楽しく運動、継続して

### 理学療法士 屋代 貴久

運動療法についてご説明いたします。「運動」と聞くと苦手意識がある方も多いかもしれませんが、空き時間で気軽に取り入れられるものもあります。大切なことは始めてみることで、そして継続していくことです。共に楽しく運動してみましょう！

## 新着情報

### ◆「もの忘れ外来」がスタートしました

外来看護科副師長 **小久保 香苗** (もの忘れ外来責任者)

人生100年時代と言われていますが、人は年を重ねるにつれ記憶力は衰え、「この人誰だっけ?」「ごはん食べたかな?」と思うことが増えてきます。加齢に伴う自然なものの忘れと病的なものの忘れは一見区別が付きにくいことがあります。また、自分ではわからないことが多く、家族や周囲の方の早期発見が重要になってきます。このような背景から当医療センターは、認知症予防や医療体制強化のため、認知症サポート医を含む医師2名、看護師や関係職種が連携した「もの忘れ外来」が5月8日にスタートしました。詳細については、内科外来へお声かけください。



前列左より、渡辺師長、小久保副師長、佐久間医師 (認知症サポート医)、大橋内科部長、宮崎看護師、菅谷地域医療支援室長  
後列 もの忘れ外来サポートスタッフ (診療放射線技師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、事務)

### ◆白内障手術装置を更新

令和5年3月に、白内障手術装置を更新しました。当医療センターでは、年間400件以上の白内障手術を行っています。



Alcon Centurion

## 職員紹介 (常勤医師、事務部長)



内科部長

**大橋 健二**

日本神経学会指導医・専門医  
日本内科学会認定内科

山梨医科大学 (現山梨大学) 卒業後、大学の医局関連病院で勤務し、東日本大震災後に福島県郡山市の診療所からいわき市の病院を経て入社しました。専門は脳神経内科で、脳血管障害、生活習慣病管理、パーキンソン病や認知症などの診療を行い、また、人工透析治療や訪問診療も担当しますので、よろしく願いいたします。



内科専攻医

**松本 健吾**

消化器内科

今年度より、香取おみがわ医療センターの内科に着任いたしました松本健吾です。消化器内科を専門としており、内視鏡検査も行います。お腹の症状や胃癌、大腸癌の心配などありませんでしょうか。患者さんに寄り添い、香取・小見川地域の医療に貢献できるように精一杯努めさせていただきます。



整形外科医長

**向畑 智仁**

整形外科専門医  
脊椎脊髄医

千葉大学医学部附属病院より赴任してまいりました、整形外科の向畑智仁 (むかい はたとみひと) と申します。専門は脊椎脊髄疾患です。患者さん一人ひとりの声をしっかり聞いて、丁寧に診療できればと存じます。はじめは不慣れな点も多いかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



事務部長

**絵鳩 万里**

医療センター前の県道沿い、歩道のフラワーポットに花が咲いています。ご近所の方が仮囲いされた病院建設中から、また、医療センターで手術をされた方が感謝の気持ちから植えてくださっている花です。そうしたお気持ちに応えられる医療センターであり続けるよう、ここで働く一員として日々努めてまいります。

スポットライト

地方独立行政法人

**香取おみがわ医療センター**

TEL 0478-82-3161 (代表) FAX 0478-83-3032  
〒289-0332 千葉県香取市南原地新田438番地1

休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始  
診療受付 平日8時から (予約が必要な診療もあります)  
診療科により診療時間は異なりますので、詳しくはホームページ等でご確認ください。  
<http://www.hospital.omigawa.chiba.jp/>

